

公共施設調査特別委員会 公共施設を考える

- 公共施設調査特別委員会は、令和2年9月定例会で「市民にとって最もふさわしい公共施設の適正な保有や配置となるよう、市の公共施設個別施設計画が策定されるまで調査する」として設置され、令和2年9月29日を皮切りに、令和3年1月29日まで4回の委員会を開催し、委員の質疑や提言、それに対する執行部の答弁を繰り返し調査を進めました。
 - 委員会の確認・修正事項**
 - ・ 個別施設計画は令和3年度の予算との整合を図る。
 - ・ 個別施設計画は各施設への着手段階において市民などに十分説明する。
 - ・ 複合化などの具体的施設がある場合には、計画にそれらを明示し分かりやすい計画にする。
 - ・ 湖南省公共施設の位置図を掲載する。
 - ・ 個別施設の方向性が決まれば、その旨を記載したものを各施設に掲示し、市民周知を図る。
 - ・ 湖南省の公共施設として市全体の配置バランスなどを考慮して進める。
- 決議案提出・委員会廃止**
- 令和3年3月18日開催の第5回委員会で委員の意見を反映した「湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画」最終案が示され、それに対する各委員の意見を「湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画の適正な運用を求める決議(案)」として委員会提出することを決定するとともに、設置目的を達成したことから委員会を廃止することを確認しました。

湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画の適正な運用を求める決議（案）

「湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画」は、湖南省議会公共施設調査特別委員会において調査、研究を進めた結果、本委員会の意見が反映された同計画が策定されました。

個別施設計画の実行に際しては、市民にとって最もふさわしい公共施設の適正な保有や配置となるよう下記の事項に十分留意して取り組まれるよう求めます。

記

- ・ 市域全体を意識しながら、市民にとって必要な機能を維持し、湖南省らしさを追求するとともに、勇気を持って思い切った削減にとりくむこと
- ・ 施設の修繕、建て替え、統廃合は、施設の有効活用を視野に入れ、市内全体のバランスや施設へのアクセスを考慮し、市の施策や方向性を加味したうえで行うこと
- ・ 各施設の様々な条件を考慮し、各施設の対策内容と実施時期を具体的に推進すること
- ・ 「若い世代が湖南省に住み続けたいと思えるまちづくり」の視点で進めること
- ・ 施設の統廃合等の方向性が決まれば、市の財政状況等も含め市民等に十分説明するとともに、着手段階ではその旨を各施設に掲示するなど様々な方法を駆使して周知を図り、意見聴取に努めること
- ・ 施設の譲渡は、市が地域等に方針を提示し、地域等において施設の必要性の検討が進むよう主体的に取り組むこと
- ・ 除却等決定済み施設を教訓に、議会への情報開示や地元や利用者との協議を密にすること（中央まちづくりセンター・青少年自然道場・勤労青少年ホーム・女性センター）
- ・ 統廃合による削減効果や、それにより生じる財源活用を明確にすること
- ・ 個別施設計画は、社会情勢の変化を踏まえながら進捗管理に努めること
- ・ 個別施設計画を変更する場合は議会に諮ること
- ・ 個別施設計画に掲載された施設の売却や譲渡は議会に報告すること

令和3年（2021年）3月23日

湖南省議会

本会議で決議案は全員賛成で可決